

AGENT インテグラル錠取替用プッシュプル錠 取付説明書 (RELOX II 64D)

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用に際しましては、この取付説明書をよくお読みの上、正しく安全にお取り扱いください。
また、この取付説明書はいつでも取り出せる場所に保管していただきますようお願いいたします。

お願い 取付をされる業者様へ 本書は必ずお施主様またはご使用主様へお渡しください。

重要 ・グリップハンドルにぶら下がったり通常以上の付加をかけることは、決してしないでください。危険なばかりか錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
・必ずよくお読みのうえ、正しく施工してください。 ・取付作業中は扉が閉まらないように固定してください。

1. 取付の前に必ずご確認ください。

1-1. 取付可能条件

- 外開き扉（内開き扉には取付できません。）
- バックセット：64 mm
- 適 応 扉 厚：32～42 mm
- チ リ 寸 法：2～5 mm
- 右勝手用、左勝手用が存在します。
左右の勝手に間違いが無いかわ図 1-1-5 より確認してください。
- 扉の追加加工が必要です。
裏面の切欠加工が可能か確認してください。
- 扉の外部ハンドル、内部ハンドルが装着する部分は平である必要があります。裏面を参考に補助錠やリブの干渉が無いかわ確認してください。

図 1-1-1 チリ寸法と扉厚

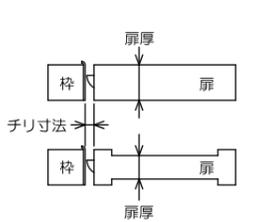


図 1-1-2 フロントサイズ

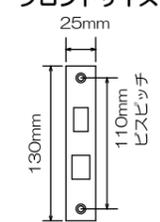


図 1-1-3 扉厚の測定方法

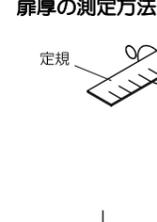


図 1-1-4 メーカー名 型番

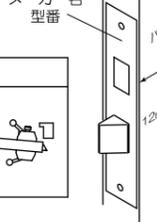
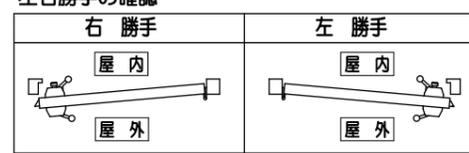


図 1-1-5 左右勝手に確認



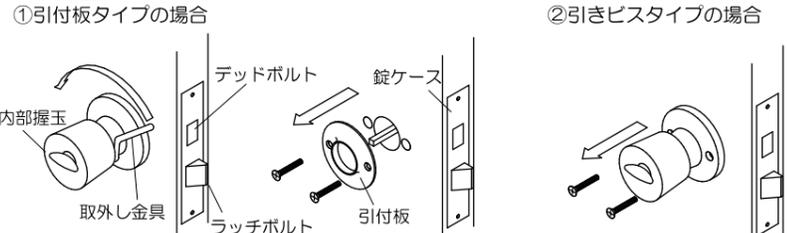
1-2. 梱包内容一覧



2. 切欠き孔の加工（握玉・錠ケースの取外し）

注意 以下取付作業には軍手などの手袋をご使用ください。
作業中は扉は必ず開けた状態で固定してください。

2-1. 現在使用されているノブの握玉・引付板・錠ケースを取外してください。



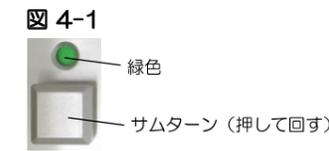
※取り外しには⊕ドライバー、付属の取り外し金具をご使用ください。
次に錠ケースも取り外してください。

2-2. 切欠き孔を加工してください。

裏面の切欠き図の寸法通りに切欠き孔を加工してください。
(注意 1) 扉の垂れ下がり歪みなどが生じて枠と扉が接触している場合は先にそれらの修理をしてください。

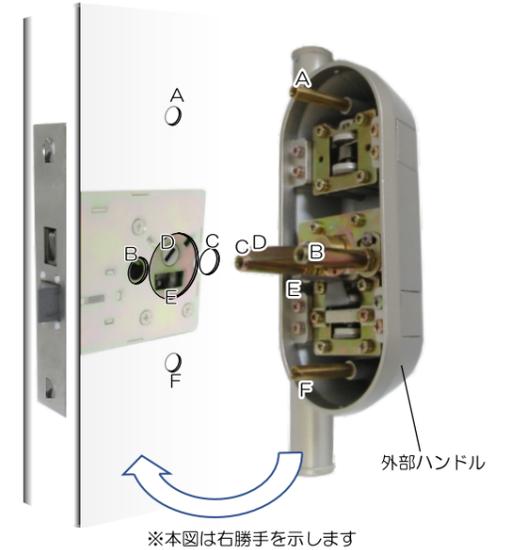
4. 外部・内部ハンドルの取付

4-1. 内部ハンドルの表示部分が緑色になっているか確認してください。
表示部分が赤色の場合はサムターンを押して回し緑色に変えてください。



4-2. 外部ハンドルを扉の外側から差し込みます。(図 4-2)
扉と錠ケースの孔A～Fに外部ハンドルの突起A～Fを合わせて差し込みます。
製品の落下には十分ご注意ください。

図 4-2



4-3. 内部ハンドルを扉の内側に当て、4本のネジ（M6×50 2本（左右方向）とM5×60 2本（上下方向））を均等にしっかり締め付けてください。(図 4-3)
最初は緩く仮締めし、内外ハンドル及びサムターン（シリンダー）がスムーズに動く位置に調整した後、しっかり締め付けてください。
製品の落下には十分ご注意ください。使用中に取付ネジに緩みが生じたら直ぐにネジを締め直してください。

図 4-3

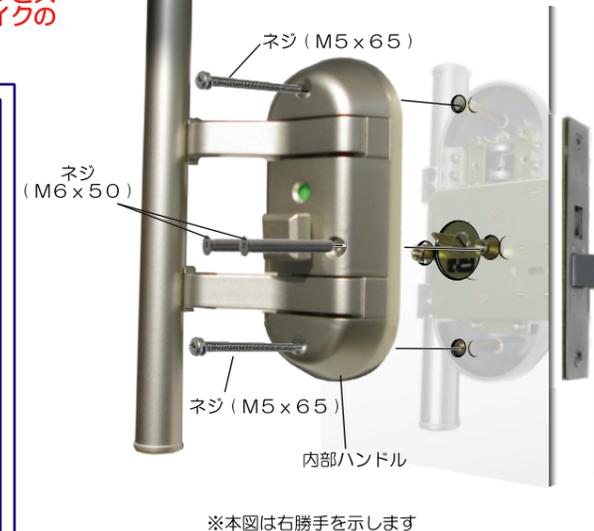
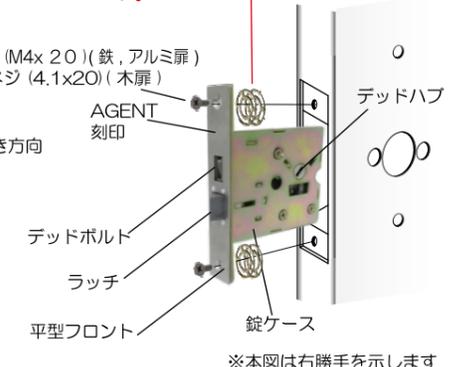


図 3-2 フロントが扉面より沈み込む場合は錠ケース用スペーサーを使用し高さを調整してください。



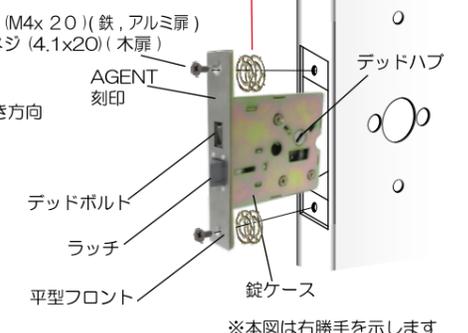
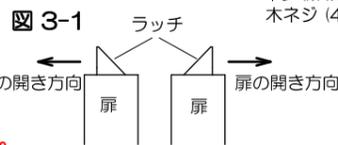
3. 錠ケースの取付

3-1. デッドボルトが出ている場合はデッドハブを回し引っ込めてください。

3-2. 錠ケースのラッチの方向を確認してネジ（M4×10）または木ネジ（4.1×20）で固定してください。(注意 1),(注意 2)

(注意 1) AGENT 刻印が必ず上になるように取付けてください。
(注意 2)

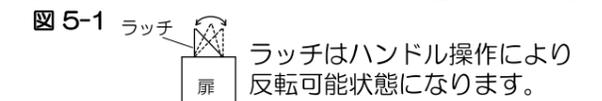
L型フロントに取替える場合（取替不可な場合有り）はラッチはそのままで平型フロントのみを取替えてください。（平型フロントは両面テープで仮止めしてあります。）
また、このケースはフロントを外すとラッチが外れます。落とさないように注意してください。万一、ラッチが外れた場合は図 3-1 を参考に元の通りに正確に入れてください。（決して元と反対に入れないでください。）



5. 動作確認

5-1. 内外ハンドル操作、サムターン、キーの操作で正常に作動するか確認してください。

ラッチは内外のハンドル操作により向きが反転可能状態になります。（ハンドル操作だけではラッチの出入りはありません。）

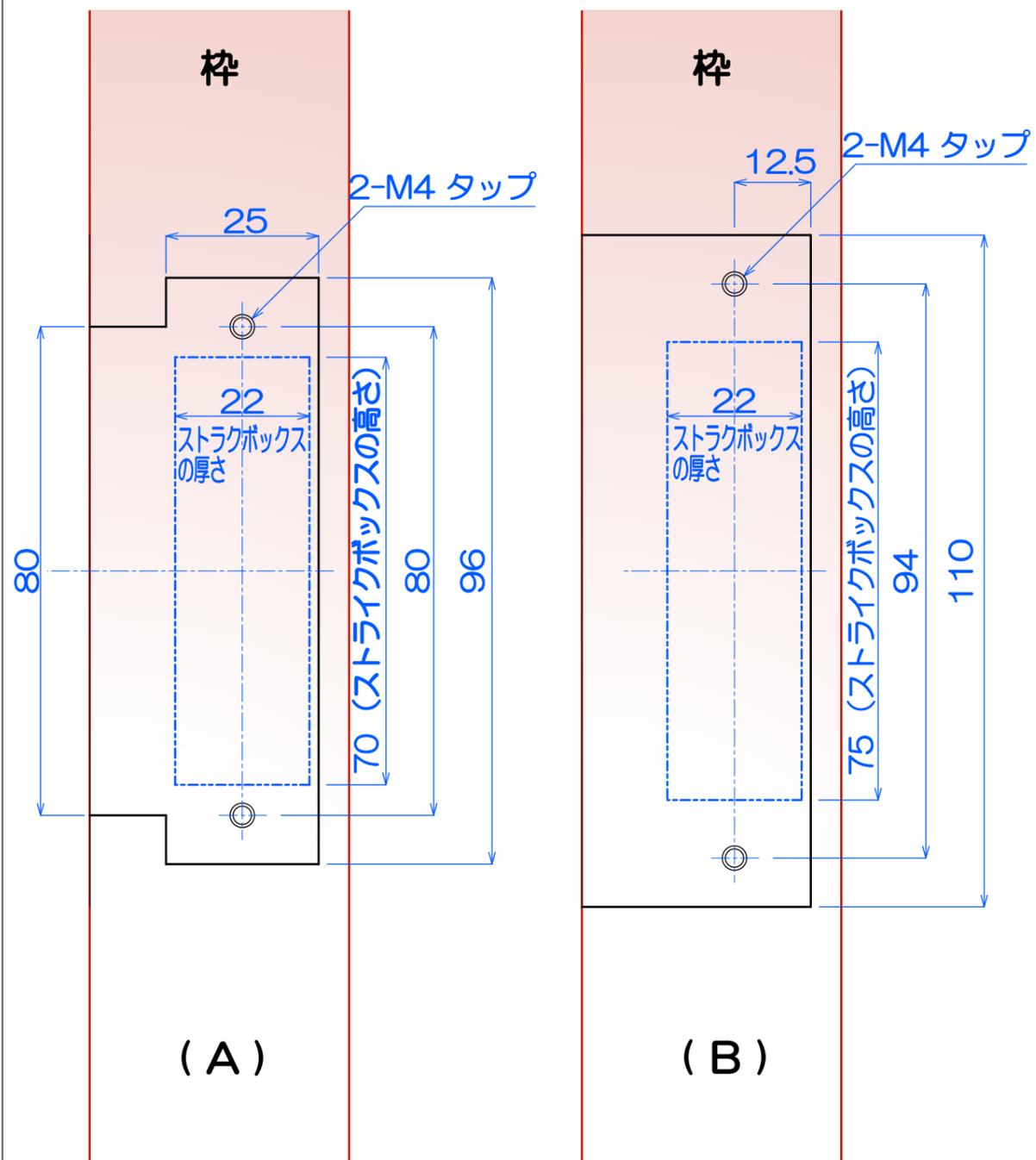


5-2. 扉の開閉作動を確認してください。
5-1 が正常に作動する場合にのみ行ってください。
必ず屋内側より行ってください。

RELOX II-64D 切欠き寸法図

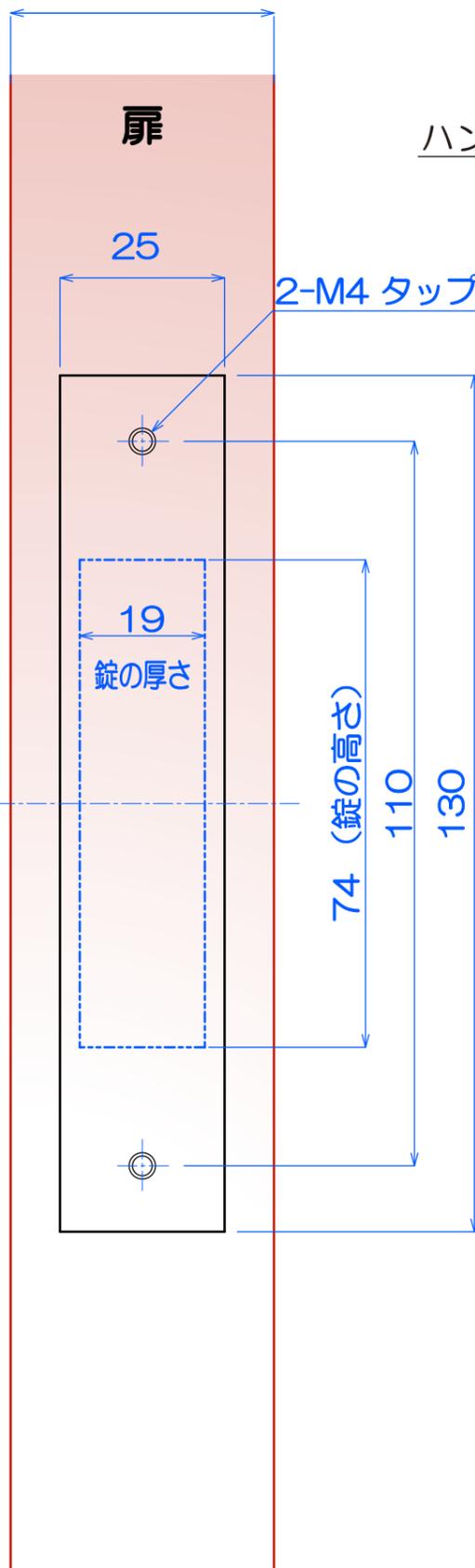
縮尺 1 : 1

ストライク

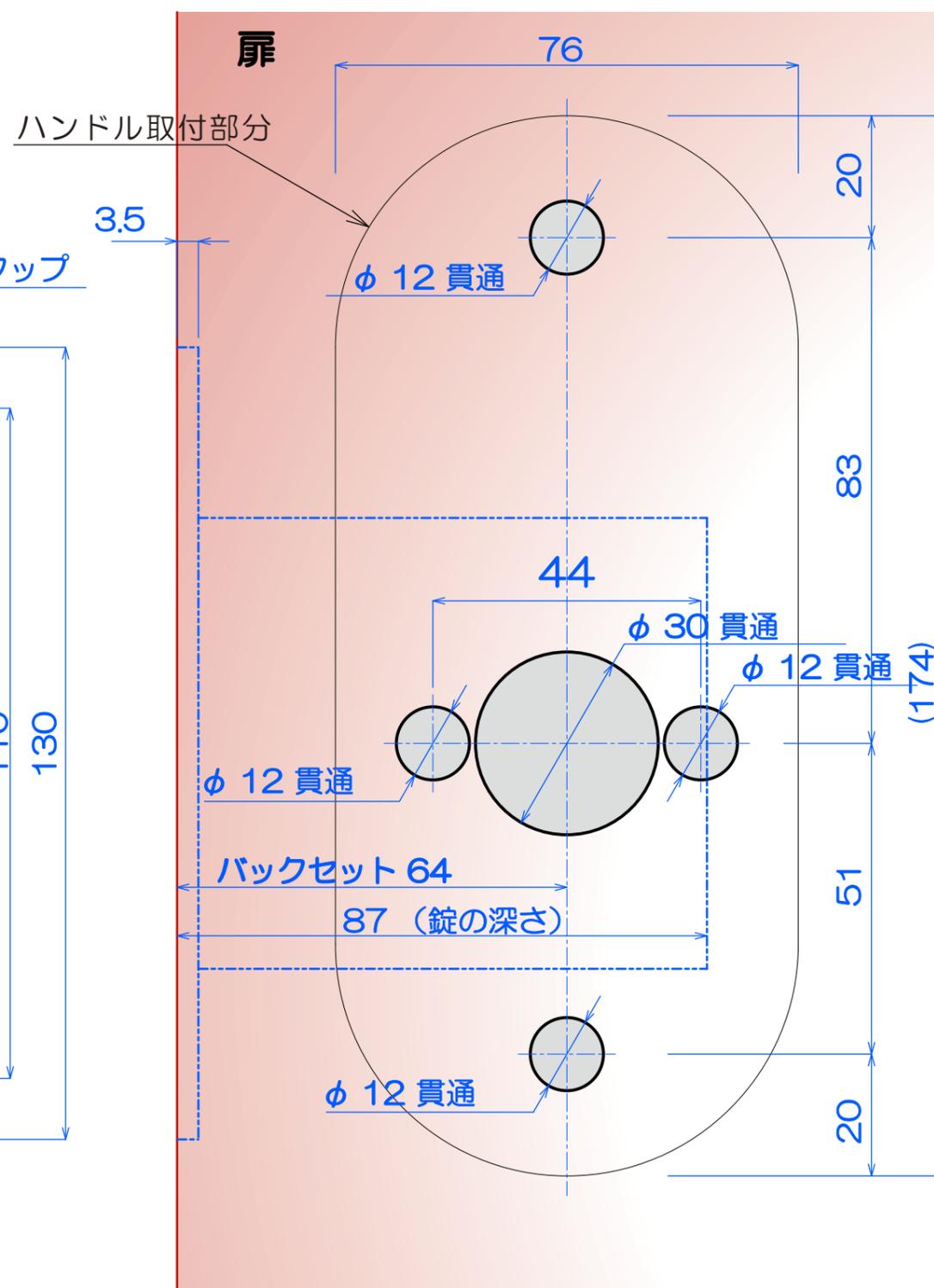


錠ケース

扉厚 32 ~ 42



ハンドル



※取付には楕円の内側は平である必要があります。
 また補助錠などの干渉が無いか確認してください。